

令和5年度

学校関係者評価報告書

令和6年6月

富山県高岡看護専門学校

## 1 学校関係者評価の実施について

教育内容や学校運営状況等について、令和5年度分の自己点検・自己評価結果に基づき、実習病院関係者、関係団体、地域住民、卒業生等で構成する学校関係者評価委員に対し、自己点検・自己評価結果の客観性・透明性及び評価結果に係る検証を依頼するとともに、改善に向けた方策を見いだすための考え・意見を求めた。

## 2 評価項目

- ・自己点検評価の内容が適切かどうか
- ・自己点検評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

## 3 学校関係者評価委員

		所属	役職	氏名
1	実習病院	社会福祉法人恩賜財団済生会 富山県済生会高岡病院	副看護部長	高畑 聖子
2	関係団体	(株)高岡ステーションビル	専務	島崎 勉
3	経済関係	高岡市産業振興部	商業雇用課長	中川 正人
4	地元自治会	桜馬場中通り自治会	会長	宇波 真一郎
5	卒業生代表	-	-	森本 真央

## 4 評価対象期間

令和5年度分（令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日）

## 5 評価要領

自己点検・自己評価報告書を学校関係者評価委員に事前配布・説明した後、自己評価結果に対する評価・意見を求めた。

## 6 自己点検評価概要

自己点検・自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、下記のとおり基準1～10項目とした。

- 基準 1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準 2 学校運営
- 基準 3 教育活動
- 基準 4 学修成果
- 基準 5 学生支援
- 基準 6 教育環境
- 基準 7 学生の募集と受入れ
- 基準 8 財務
- 基準 9 法令等の遵守
- 基準 10 社会貢献・地域貢献活動

## 7 今後の取組

学校関係者評価の結果、自己点検・自己評価では気がつかない多くの改善点・見直すべき検討課題が発見できた。これらの意見を詳細に分析し、理事会・評議員会においても審議いただき、教育水準の向上・学校運営の効率化に努めていくこととしている。

[ 評価・意見は別紙参照 ]

# 令和5年度 学校関係者評価・意見

富山県高岡看護専門学校

内 容		自己評価 /4点持点	学校関係者評価委員の評価・意見
<b>基準 I 教育理念・目的・育成人材像</b>			
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念、目的に沿った教育指導が行われている。</li> <li>・コロナや大規模災害など医療従事者の果たす役割は、ますます大きくなっている。それに対応できる人材に育ててもらうことを期待しています。</li> <li>・入学時や学習前などのタイミングで学生に目的や育成人材像について指導が行われている。しかし日々の活動の中で意識することは少なかった。</li> <li>・合格率も高く、就職率も高い実績があり、地域医療に貢献していることに自信を持ってHPに公表していただければよい。</li> </ul>
1-2	学校の特色は明確になっているか		
<b>基準 2 学校運営</b>			
2-3	運営方針・事業計画は定められているか	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営会議や教務会議等のあり方を改めて整理し、各学年の課題や目標、及び対応策の理解・周知となるよう改善を図られたい。</li> <li>・各学年の課題や目標、及び対応策が担当全員に十分に理解・周知されていないことについて、看護教育は学年担当外の教職員が指導に関わる機会が多いため、学年の課題や目標を学年以外の担当者（教科目担当、実習担当、実習施設担当、など）に周知するための体制や、理解してもらうための方策を検討する必要があるのではないか。</li> <li>・医療現場では情報システム化が進んでいるので教員や学生もそれに即応できるようにすべきではないか。</li> <li>・課題に対しての目的が学年担当者間で統一、周知されていないことがあり、コミュニケーションが不十分であると感じた。</li> <li>・システム管理会社と契約されており個人情報管理が徹底されている。</li> <li>・低い自己評価は理解、周知、会議の進め方としておられるが、本質は別にあるように思えますポイントを明確にされてはどうか。</li> </ul>
2-4	運営組織や意思決定機能は効率的に動いているか		
2-5	情報システム化による業務の効率化が図られているか		
<b>基準 3 教育活動</b>			
3-6	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育カリキュラムに基づき、適正な単位認定等が実施されている。</li> </ul>

3-7	3つのポリシーに基づいて教育運営が行われているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業に至らない学生は常に一定数存在するが、これらの学生の多くは家庭の問題や精神的な問題を抱えていることが推測される。学生の支援や、フォローは担任などが対応窓口となることが多いと思われるが、指導にあたる教員の支援、サポートの体制も整える必要があるのではないかと。</li> <li>3学年すべてが新カリキュラムとなり、実習施設も多岐にわたり多様な実習展開をしていることと思われる。多くの学生が、多数の実習施設に分散して実習展開するということは、その指導に当たる教員の実習指導、実習施設との調整、実習巡回、実習指導教員との情報共有など多くの細かな業務が発生すると推測される。新カリキュラムの推進にあたりこうした教員の指導体制についても検討されたい。</li> <li>・「地域・在宅看護論」で実習やフィールドワークが行われているが、看護師として重要な経験だと思います。</li> <li>・毎年の高い看護師国家試験合格率からも質の高い指導が行われていることが分かる。</li> <li>・学生便覧やシラバスが各学生に配布され教育課程や学則など詳しく分かりやすく知ることができる。</li> <li>・国家試験対策として複数の先生方で強化授業を開いてくださったり、常時質問を受け入れてくださったり丁寧に対応されている。</li> <li>・高い合格率を保っておられることは素晴らしいことである。</li> <li>・「地域・在宅看護論」を新設され、健康を考える仕組みを学習するために実習を行っていただけていることに大変有難く思います。</li> </ul>
3-8	カリキュラムは体系的に編成された実践的な専門職業人の養成教育の視点にたった工夫がされているか		
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		
3-10	教育目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		

**基準4 学修成果**

4-11	就職率の向上が図られているか	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内医療機関への就職に繋がるよう、関係団体との連携を検討されてはどうか。</li> <li>・就職指導の成果として、学生の第一希望施設への就職状況などもデータとして示されてもよいと思われる。</li> <li>・卒業後の様子を追いかけて、学生への指導方針の参考としてはどうか。</li> <li>・就職ガイダンスが開催され、卒業生から直接話を聞け、就職に対する意欲向上に繋がっていると考えられる。</li> <li>・就職率が高いことは必要な人材を育て送り出している実績である。</li> </ul>
4-12	退学率の低減が図られているか		
4-13	卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		

**基準5 学生支援**

5-14	就職・進学指導に関する体制が整備されているか	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の成績アップの学習強化や進学・就職先に応じた戦略を展開していただいている。また、担当者を決め継続的に学生相談に対応し、職員間で共有されている。</li> </ul>
5-15	学生相談に関する体制が整備され、有効に機能しているか		

	ているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験不合格者に対しても、卒後継続的な学習支援、国家試験受験手続の支援が行われ、手厚いサポート体制がとられている。</li> <li>・看護の世界を目指す学生ばかりですが、育った環境や能力、考え方がそれぞれ違うので、個々に寄り添ったきめ細やかな指導や相談をお願いいたします。</li> <li>・1年次で複数のクラス担任との面談、2年次には副学校長との面談があり就職についてアドバイスがもらえたり、相談ができたり環境は十分に整っていた。</li> <li>・卒業生や各病院の担当者が学校に来て話を聞くことができることで就職先選びがしやすい。</li> </ul>
5-16	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか		
5-17	保護者と適切に連携しているか		
<b>基準6 教育環境</b>			
6-18	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備や機械も十分な環境と思われるが、昨年度より自己評価が大幅に減少(△0.6)した理由はなにか。</li> <li>・医療の世界は日進月歩。機械器具等も病院現場に合わせたものを常に導入して教育環境を充実させていただきたい</li> <li>・新しい建物であり内装も綺麗で廊下にもエアコン、椅子があり勉強しやすい。</li> <li>・図書室にも十分な資料集や分かりやすい本について教えてくれる図書室の方がおられる。</li> <li>・年2回避難訓練が行われ避難経路などを知ることができた。</li> <li>・令和4年では自己評価が3.7でしたが、3.1に下がった理由は何でしょうか。</li> </ul>
6-19	防災・安全に関する体制は整備されているか		
<b>基準7 学生の募集と受入れ</b>			
7-20	学生募集活動は適正に行われているか	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学納金はかなり安価である。</li> <li>・入学選抜試験の受験者減の要因としては、COVID19が5類へ移行し、人の移動に制限がなくなりこれまで抑制していた県外進学者自体が増加している影響なども考えられる。高岡看護専門学校だけが減少したわけではないと推察され、県内他校への進学状況も踏まえて受験者数の増減を評価としてはどうか。</li> <li>・高岡駅に立地しているので、駅利用の高校生向けの勧誘のイベントなどとしてはどうでしょうか。</li> <li>・病院などでも学生募集のポスターが掲示されており、家族などから若い世代に伝わり学校の存在を知ってもらうことができる。</li> <li>・インスタグラムなどSNSを利用して学校紹介していけばよいと思う。</li> <li>・地域の中学校、小学校の学校施設見学を定期的実施することで看護に対する興味を持つ機会を与えて頂きたい。(市内の5～6年生とは別に、校下内の子供たちを対象)</li> </ul>
7-21	入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか		
7-22	学納金は妥当なものとなっているか		

<b>基準8 財務</b>			
8-23	中長期に学校の財務基盤は安定しているといえるのか	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費や人件費が高騰している中で、健全経営を目指すため、自主財源である学納金を確保する努力が必要だと思えます。</li> <li>・学校の環境が整い過ぎているが故にエアコン、電気の消し忘れ、必要以上におむつなど実習練習に使う物品を使ったりすることがある。学生に注意喚起や物を必要以上に準備しないようにするべきである。</li> </ul>
8-24	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		
8-25	財務について会計監査が適正に行われているか		
8-26	財務に関する情報公開は適正に行われているか		
<b>基準9 法令等の遵守</b>			
9-27	法令・設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場における実習等の場合は、患者の情報取扱いに十分留意するよう徹底していただきたい。</li> <li>・若者がネットやSNSで気軽に発信することで事件となるケースが増えている。実習で病院現場に出た際に個人情報に触れる機会が増えるので、十分に気を付けて頂きたい。</li> <li>・実習中に個人情報の取扱いについて注意している学生の様子からも十分な指導がされていると感じる。</li> <li>・学生の個人情報は学内金庫で保管されており情報管理としては適切な対策が取られている。</li> <li>・守秘義務について多くの事例を通して知らしめることが大切。(写真、動画、C o p y、ネットへの投稿他)</li> </ul>
9-28	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか		
9-29	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか		
9-30	自己点検・自己評価結果を公表しているか		
<b>基準10 社会貢献・地域貢献活動</b>			
10-31	学校の教育資源を活用した社会貢献活動を行っているか	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアや防災活動への参加を継続されたい。</li> <li>・コロナ禍において人の交流が制限され、実習を控えた学生では自身の感染で履修が制限されるのみでなく、実習相手先の患者、職員などへの影響もあり、十分な活動が出来なかったことは致し方ない側面がある。感染リスクの少ないボランティア内容で地域貢献できることもあると思われ、方法などを工夫され地域活動を広げていただくとよいと考える。</li> <li>・医療従事者を目指す学生にとって社会・地域貢献活動は重要だと思えます。学校だけでなく個人として各分野に貢献する意識づけをお願いします。</li> <li>・高岡駅周辺のゴミ拾いを学生全員で行い、社会貢献活動を行っている。</li> <li>・個人的な活動はコロナ禍で制限されており、取り組むことはできなかった。</li> <li>・地域と合同での防災訓練、地域清掃他多くの取組みに感謝しています。できれば生徒会活動として地域の住民運動会、ボランティア活動にも興味を持っていただければありがたい。</li> </ul>
10-32	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		

## その他 意見や改善点などご自由にご記入ください

【講義に関して】 講義依頼を受ける際に、病院の特徴を踏まえた科目での依頼をいただけるとありがたい。施設で対応していない診療科、領域の講義依頼では実践経験もなく、臨床の看護師が講師として授業を行うことの価値が半減すると思われる。

【実習に関して】 特別な配慮を要する学生に関して、現在、実習直前の連絡で対応する状況であるが、対応が後手に回ることが多々ある。担当患者の配慮、指導看護師の配慮など、事前調整が可能であれば実習でのサポートが行える。臨床指導者会議など年間複数回開催されており、その際に情報共有できればと考える。

- ・教育スタッフの皆さん、お疲れ様です。学生達が富山県高岡看護専門学校の卒業生であることに誇りを持ってよう学校運営に頑張ってください。
- ・能登地震、7月の水害等、平常時、発生時避難所等について「地域防災計画」の策定を進めております。その中でスキルを持った皆様が近くで学習していることを心強く思っておりますので、今後もお互いにコミュニケーションをとらせていただければ幸いです。

## 学校関係者評価総括について

- 1 学校の教職員等による自己点検・自己評価結果に基づき、医療・経済・地域関係者で構成する学校関係者評価委員それぞれの立場から、様々な意見や感想とともに好評価のみならず問題点、改善点など貴重な事項についても指摘いただいた。
- 2 教育内容及び国家試験合格率、卒業生の就職状況については、概ね全員が高い評価をしている一方で、募集定員の確保策はもとより、予算執行の無駄の削減など安定運営にむけたご指摘も数多くいただいた。
- 3 教育環境での自己評価が令和4年度の3.7から3.1に減少したことの理由を問われている。これはシミュレーターなど高額教材の優先度をふまえた計画的購入がされていないこと、学内教材の老朽化に伴い実習教材が使えなくなっていることが要因の一つであるが、令和6年度において公的補助金を使用して購入予定である。日進月歩の医療現場に対応した教材を可能な限り導入していきたい。
- 4 法令等の遵守については、患者の情報の取扱いや守秘義務に関して助言があり、また現状の実習中における学生の様子を見る限り、これらの課題も対し十分な指導がされているとの感想もいただいた。
- 5 各学年の課題や目標等が、学年担当に十分な周知と理解がなされていないのではないかとのご指摘については、早急に解決すべき課題と捉えている。
- 6 講師依頼については、講師の専門領域などをふまえて検討した結果、依頼するように努めてまいります。